

行財政改革プランにおける進捗管理の考え方について

経営改革プランの進捗管理に対する反省点

- 1 市民・職員のプランへの認知度がいまひとつ低かった。
- 2 プランの各取組について、自分たちの問題という認識があまりないせいか、各課からの自発的な改善意識の醸成について、いまひとつ図ることができなかった。
- 3 各課から行政課への報告様式に負担感はあまりなかったものの、改善へのツールとしていまひとつ機能しなかった。
- 4 全体数値目標は毎年数値を算出・公表したものの、未達成の場合の対応が十分に図られなかった。

めざすべき方向性

認知度を高めたい。

自発的に各取組内容を評価・検証し、改善策を考え、具体的な行動に移すことができるような仕組みを構築したい。

改善へのツールとして機能する様式・仕組みにしたい。

各取組みと同様に数値目標についても、内容を検証し、改善策を考え、具体的な行動に移すことができるような仕組みを構築したい。

【専門委員会からのご意見】